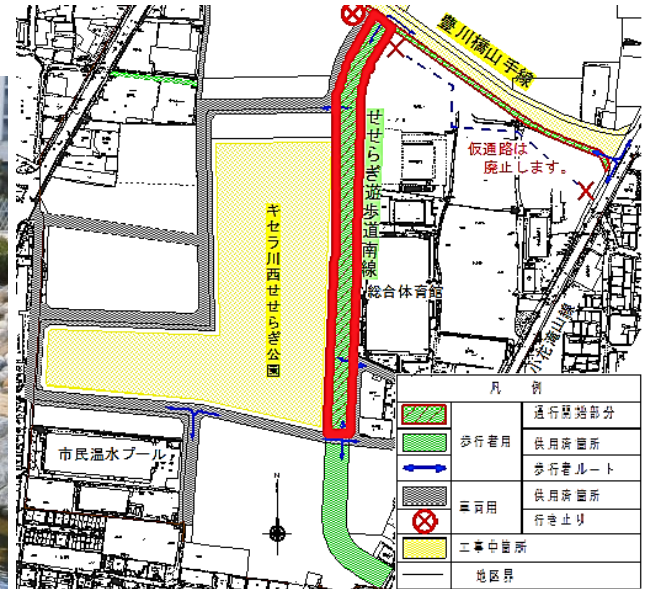


4月3日(月)に、せせらぎ遊歩道南線の全域がオープンします



現在工事が進む、キセラ川西せせらぎ公園の東側、総合体育館との間に位置するせせらぎ遊歩道南線が4月3日(月)、ついに開通します。せせらぎ遊歩道には、こいの池があったり、ホタルなど水生生物が生息しやすい護岸をつかったり、水草が繁殖しやすい川底を整備するなど、工夫をこらしました。

ワークショップで結成された自然観察チームやホタル復活プロジェクトのメンバーの活動の場となり、そして多くの市民のみなさんに親しまれる遊歩道になることを願います。ぜひ小春日和に、遊歩道を歩いてみてください。

「ワクワクすることをやっちゃおう！」イベント活動等の申請受付を4月3日より開始します

市民による、市民のための、市民が愛着をもてる公共都市空間をめざし、長い年月をかけ市民参画で整備を進めてきた、キセラ川西せせらぎ公園。ついに今年の夏オープンします。オープンした後は、市民のみなさんにキセラ川西せせらぎ公園を使いこなしていただき、豊かな暮らしや魅力的なまちを実現していただけることをサポートするため、「キセラ川西せせらぎ公園活用 ガイドライン【試行版】」を作成しました。

『公園でこんなことをしてみたかった。』や『普段の活動を公園でもやってみたいな。』などみなさんが「ワクワクすること」をどんどん公園で展開してください。



ガイドラインは、市役所 5 階の地区整備課や公園緑地課、市民プラザやパレットかわにしなどでお手にとっていただけますし、市ホームページからもダウンロードできます。9月以降にイベント等を企画してみたいと思われる方は、4月より事前相談を受け付けますので、まずはガイドラインをぜひご覧ください。

イベント利用スタートまでのスケジュール

3月23日

・ガイドラインの公開

4月3日

・申請受付開始

9月1日

・イベント利用スタート

市民プログラムワークショップ 最終回を開催しました

昨年より、キセラ川西せせらぎ公園で活発な利活用が展開されることを目標に開催してきた「市民プログラムワークショップ」。最終回となる第8回目を3月18日(土)に開催しました。

この日は、来年度の活動計画や、市民のみなさんの集いの場となる新ワークショップ「キセラカフェ」で何がしたいかなどを話し合い、新たなスタートを切ることができました。

最後に、一人ひとりワークショップに参加した感想を発表してもらいました。みなさんからは、「数年前の設計ワークショップに参加したとき、こんな意味あるのかな…と思っていた。でも参加してよかった。このような公園を作ってくれたことに感謝したい。」といった声や「気持ちがモヤモヤした時期もあったけど、来年度も楽しみだ。」「答えのないワークショップだからこそ楽しかった。」などの感想をいただきました。

悩みながらも無事にワークショップを開催でき、事務局としてもホッと一息つくことができました。来年度も引き続き、市民のみなさんと公園がよりよい場となる様に、協働で話し合いや利活用促進を進めていきます。



☕ キセラカフェ 開催します ☕

!!参加者募集!!

日時：5月13日(土)13時～15時

場所：キセラ川西オリヴィエマンション 集会所

参加費：200円(お茶代) / 申し込み：不要

内容：お茶を飲みながら気軽~に集まれる場所

- ①キセラ川西せせらぎ公園のご紹介
- ②公園でやりたいことを自由にアイデア出し
- ③今後のキセラカフェの進め方についてブラッシュアップ (※内容が変更する場合あり)

市民ワークショップ活動メンバーによる「水生生物観察会」が開催されました

キセラ川西を舞台に活動する「ホタル復活プロジェクト」と「市民プログラムワークショップ・自然チーム」メンバー合同による水生生物観察会が、3月4日に開催されました。

今回の活動は、メンバーが主体となり実施されたもので、開催日時や調査箇所、当日のスケジュールなどを相談し、進められました。調査・観察は、川西北小学校前の以前からある水路と新しくできたせせらぎ遊歩道南線水路の2か所で行いました。

当日は天候にも恵まれ、両メンバーとご家族のほか、PFI事業の担当者や市役所職員を含め約30名が参加し、みなさんワイワイガヤガヤと楽しい観察会となりました。

小学校前水路では、マツカサガイ、シジミ、カワニナ、ドンコ、ギンブナ、カマツカ、フタバカゲロウなど、せせらぎ遊歩道ではサカマキガイ、カワニナ、スジエビ、ガガンボ、イトトンボ、シオカラトンボなど、多くの水生生物を観察できました。水生生物に詳しいメンバーによる解説もあり、みなさん真剣にメモを取られたりしていました。

今後もメンバーを中心とした定期的な調査・観察会を行いながら、ホタルなど生物がたくさん生息する自然豊かな水路、公園に成長していくことを楽しみに活動を進めていきます。興味のある方は是非お問い合わせください。



川西北小前水路



せせらぎ遊歩道南線水路



参加者のみなさんで記念撮影しました

○問合せ先 キセラ川西整備部 地区整備課(担当 山角、藤田)

電話 072-740-1207

サクラの樹



3月下旬から、5月上旬にかけて（ソメイヨシノの）桜前線が日本列島を北上します。阪神間では4月上旬頃が満開の時期で、卒業・入学の時期とぴったり一致して、それらの行事のシンボルとなっています。

キセラ川西でもエドヒガン桜が移植されました。その名の通り春の彼岸の頃、ソメイヨシノより先に咲きます。10種類ほどある桜の原種のひとつで、非常に長生きするといわれています。樹齢1000年を超える巨木もあり、国の天然記念物に指定されているものもあります。



花芽（かが、はなめ）と葉芽（ようが、はめ）の違い。花芽はふっくらとしている。

桜は万葉時代の歌にも詠まれています。その頃は桜よりも梅の方に人気があったようです。大陸文化にあこがれていた貴族文化の影響のようです。日本で桜が鑑賞の対象として人気が出てくるのは、平安時代以降のようです。漢字から「かな」が造られて、有名な文学作品が生まれた頃とも一致します。平安時代の在原業平も、『世の中に たえて桜の なかりせば 春のこころはのどけからまし』（世の中に、桜というものがなかったら、春をのどかな気持ちで過ごせるだろうに）と、日本人の間で桜の花がいかに大きい存在であるかを詠んでいます。

しかし、現在全国的に広く植えられて花見の対象となっているのはソメイヨシノで、江戸時代末期から明治時代初めに作られた園芸種といわれています。つまり、平安時代やその後に庶民にも愛され、歌舞伎の台詞や舞台にも登場してきたのは、我々が見ているソメイヨシノではなかったということです。

ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラとの雑種で、葉が出る前にたくさんの花が咲くことはエドヒガン譲り、大きな花と葉に含まれる芳香（桜餅のにおい：クマリン）はオオシマザクラ譲りです。花の後、実がなり初夏の頃に赤黒く熟すこともあります。苦くて食べられません。また、発芽しても、これは他の種類の花粉が受粉したもので、ソメイヨシノにはなりません。そのためソメイヨシノは接ぎ木で増やします。



お知らせ

◆工事のお知らせ

1. 第10工区 工事概要

- (1) 工事期間：平成29年4月上旬から平成29年5月末
(作業時間：AM9:00～PM5:00)
※日曜、祝日は原則として休工とします
- (2) 工事概要：整地工事 約3,800㎡
- (3) 施工業者：株式会社 奥村組
- (4) 現場代理人：浜松慎一 (072-758-6820)
- (5) 担当：地区整備課 中瀬
- (6) 電話：072-740-1207



◆第8回 「キセラ川西エコまち協議会交通部会」を開催しました！！

平成29年3月15日(水)、第8回交通部会を市役所において開催しました。キセラ川西地区と川西能勢口駅周辺との回遊性の向上に繋がる交通分野の取組み(レンタサイクルや駐車場の共有化など)に関して、ヒアリング調査を実施し、今後主に取り組んでいく施策について議論しました。

◆町名変更検討部会の動きについて

現在、事業区域内の集客施設の場所を除く部分について、町名を変更する方向で取りまとめを進めておりますが、これがまとまれば、市に対する要望書案の作成に取り組む予定です。



第124回 川西市中央北地区まちづくり協議会 計画検討委員会の開催お知らせ(協議会員どなたでも参加できます)

日時：平成29年4月4日(火)17:30～ 場所：市役所2階202号会議室

建築物の建築などを行う場合、土地区画整理法第76条許可申請・地区計画の届出が必要です。

また、「中央北まちづくり指針」や「低炭素まちづくり計画」等に基づいた建築計画であるかを確認するため、事前に「建築行為等の手続条例」に基づく協議が必要です。(詳しくは、地区整備課072-740-1207へ)

権利者が死亡され名義変更されていない方や、権利の移動があった場合、住所氏名の変更があった場合はご連絡を。

上記の申告等や「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業」について質問などがございましたらご連絡ください。

川西市 キセラ川西整備部 キセラ川西推進室 地区推進課

TEL: 072-740-1203 FAX: 072-740-1330

日時：午前9時～午後5時半 (ただし、土曜・日曜・祝日は除きます)

HP: <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/machi/cyuoukitaseibi/index.html>